Voltage Detector 検電器

KD2

sanwa

電源チェック　コードチェック

コンセント、コードなどのAC電圧を安全・確実にチェックできます。

ホット（ライブ）側で機能します。

MADE IN JAPAN

三和電気計器株式会社

検電器
Voltage Detector

Serial No.

KD2

製品仕様

使用電圧範囲	AC80V～600V 50/60Hz共用
対象電線	裸線・被覆線
動作チェック	検知子からの全回路試験(被覆動作設定部を除く)
絶縁耐力	AC2000V 1分間 (検知子～握り部)
動作表示	断続音光 音量：50cm離れた位置で50dB以上 光量：8000Lx
使用電池	LR44(アルカリボタン電池)1.5V×2
電池寿命	連続動作状態：6時間　放置状態：3年
使用温度範囲	-10℃～45℃
寸法/質量	*H*133×*W*19×*D*19.5mm/約17g (電池含む)

各部名称

保証書

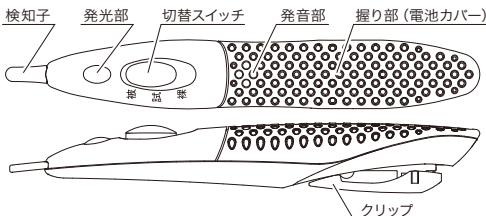
保証書

ご氏名　様

ご住所　□□□-□□□□

TEL

保証期間

ご購入日　年　月より1年間

型名: KD2

この製品は厳密なる品質管理を経てお届けするものです。本保証書は所定項目をご記入の上保管していただきアフターサービスをご利用の際にご提出ください。
※本保証書は再発行は致しませんので大切に保管してください。

三和電気計器株式会社
本社 東京都千代田区外神田2-4-4 電波ビル
郵便番号 101-0021 電話 東京(03)3253-4871(代)

保証規定

保証期間中に正常な使用状態のもとで、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。
ただし下記事項に該当する場合は無償修理の対象から除外いたします。

記

1.取扱説明書と異なる不適当な取扱または使用による故障
2.当社サービスマン以外による不当な修理や改造に起因する故障
3.火災水害などの天災を始め故障の原因が本計器以外の事由による故障
4.お買い上げの輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
5.本保証書は日本国内において有効です

sanwa® 三和電気計器株式会社
SANWA ELECTRIC INSTRUMENT CO., LTD.
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-4-4 電波ビル
TEL(03)3253-4871(代)
URL http://www.sanwa-meter.co.jp

台紙

パック:PET

MADE IN JAPAN

Ver.01

KD2
検電器

取扱説明書

取扱安全上のご注意

使用する前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、ご使用ください。また、この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に保管してください。
この取扱説明書の中で使用している表示とその意味は次のとおりです。

表示	意味
⚠ 警告	無視して誤った取扱いをすると、死亡したり重傷を負ったりするおそれがあります。
🚫 禁止	絶対に行わないでください。
❗ 強制	必ず実行してください。

使用方法

1.検電前の確認

(1) ❗ 外観・構造に異常がないこと（ケースなどにヒビ、割れ、カケがないこと）を確認してください。
⚠ 異常がある場合には絶対に使用しないでください。
❗ また、検電器の表面が汚れている場合には、きれいな乾いた布で拭き取ってからご使用ください。
🚫 シンナー、ベンジンなどの有機溶剤で拭かないでください。

(2) ⚠ 検電器の表面が水滴、水膜に覆われているような状態では使用しないでください。

(3) ❗ 電池（付属）を入れてください。
（4.電池の交換方法を参照してください）

(4) ❗ 切替スイッチを「試」レンジにセットし、断続音光（ピッピッピッ・・・）が継続することを確認してください。
このとき、発音発光しない、音が小さい、光が弱いときは電池を2個とも新品に取り替えてください。
注）付属の電池は動作確認用の電池ですので、早めの交換をお勧めします。

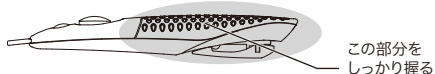
(5) ❗ 消耗した電池は速やかに取り外してください。液漏れなどによる故障の原因になります。

(6) ❗ 予め判明している実電圧などで動作を確認してください。（「試」レンジによる動作確認だけでは不十分です）
⚠ 発音発光しない場合は検電器が故障している可能性がありますので、絶対に使用しないでください

2.検電方法

(1) ❗ 切替スイッチを検電対象電線に合わせて切り替えてください。対象電線が裸線の場合「裸」レンジ、被覆線の場合「被」レンジにセットしてください。

(2) ❗ 検電器の握り部（電池カバー全体）を手のひらで包み込むようにしっかり握り、検知子を電線に接触させてください。握り部を浅く握ったり、指でつまんだ状態では動作感度が鈍くなり、正確な検電ができません。

(3) 被覆線の場合は検知子の根元をあててください。

(4) 検電時以外は切替スイッチを「裸」レンジにセットしておくことで不要動作が起こりにくくなります。

3.検電時の注意事項

(1) ⚠ 高圧電路（600V超）には使用しないでください。

(2) 人体や検電器が他の電路からの誘導電圧を受けているときに検知子をアースにあてると動作することがあります。
また、高圧電路の近くでは動作状態になることがあります。

(3) 接地されていない金属管や金属ケースなど、誘導電圧で動作することがあります。

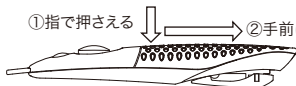
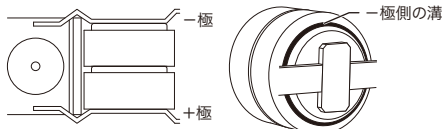
(4) ⚠ 遮蔽されている電線（シールド付のケーブルなど）では検電できません。

(5) ⚠ 動作感度は検電器の握り方、あて方などで変わることがあります。

(6) 🚫 雨の中で使用したり、水の中に入れないでください。
（防滴構造ではありません）

(7) 🚫 使用温度範囲（-10℃ ～ 45℃）以外の温度では使用しないでください。

4.電池の交換方法

(1) ❗ 電池カバーの発音口部分（4つの穴）を指で押さえ、手前に引いてください。電池カバーがスライドします。

(2) ❗ ※電池を取り出し、2個とも新しい電池に交換してください。このとき、極性（＋－）を間違えないように十分注意してください。
※電池は、電池の－極側の溝に爪を引っ掛けてつまみ上げると容易に取り出せます。

(3) ❗ 電池が正しく取り付けられていることを確認するため、切替スイッチを「試」レンジにして発音発光動作を確認してください。

(4) ❗ 電池カバーを取り付けてください。

5.保管・維持・管理時の注意

(1) ❗ 直射日光の当たらない乾燥したところに保管してください。

(2) 🚫 夏場の車内など、高温になるところに長時間放置しないでください。

(3) 🚫 分解・改造やご自身での修理は絶対に行わないでください。

(4) 🚫 強い衝撃や振動などを与えないでください。

(5) ❗ 廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。

(6) ❗ 使用済電池は各地方の自治体の指示に従い、適切に処分してください。

(8) ❗ 長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。

(9) 🚫 クリップは無理に開かないでください。可動範囲を超えて開いた場合、破損する可能性があります。